

## 5 年間発育量の世代間比較

平成30年度調査で17歳に該当する「平成12年度生まれの者」と、30年前の「昭和45年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

### (1) 身長 (図9、図10、表7)

身長が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成12年度生まれの者」が12歳～13歳で8.1cm、親世代は12歳～13歳で8.0cmとなっています。女子では、「平成12年度生まれの者」が9歳～10歳で7.5cm、親世代は10歳～11歳で7.2cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、両世代とも同じ時期となっています。一方、女子では「平成12年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(cm) 図9 平成12年度生まれの者と昭和45年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)

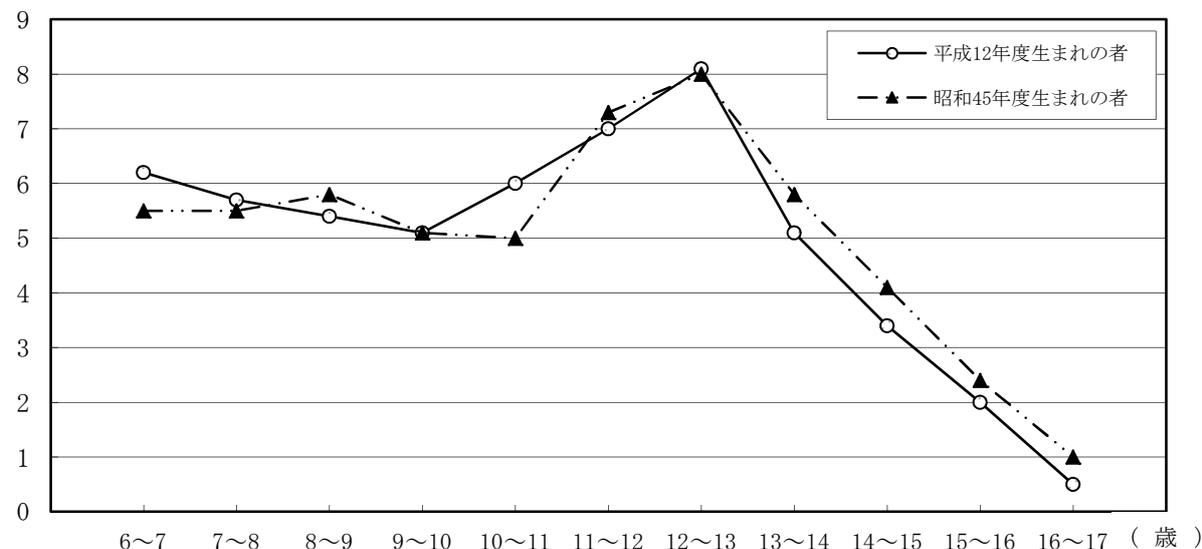
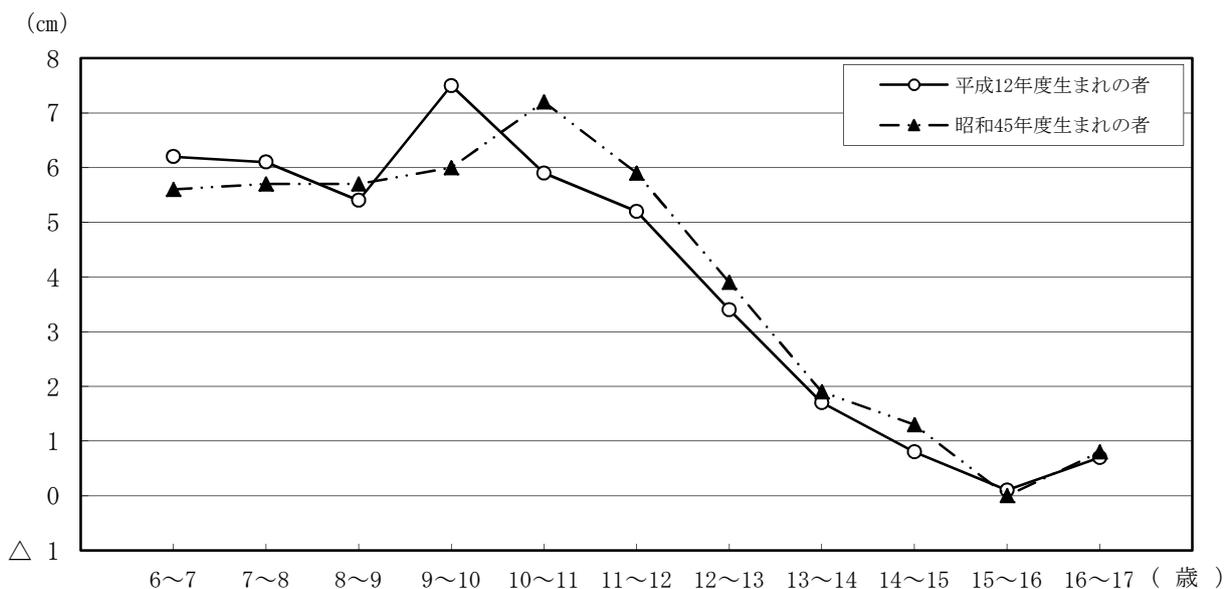


図10 平成12年度生まれの者と昭和45年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

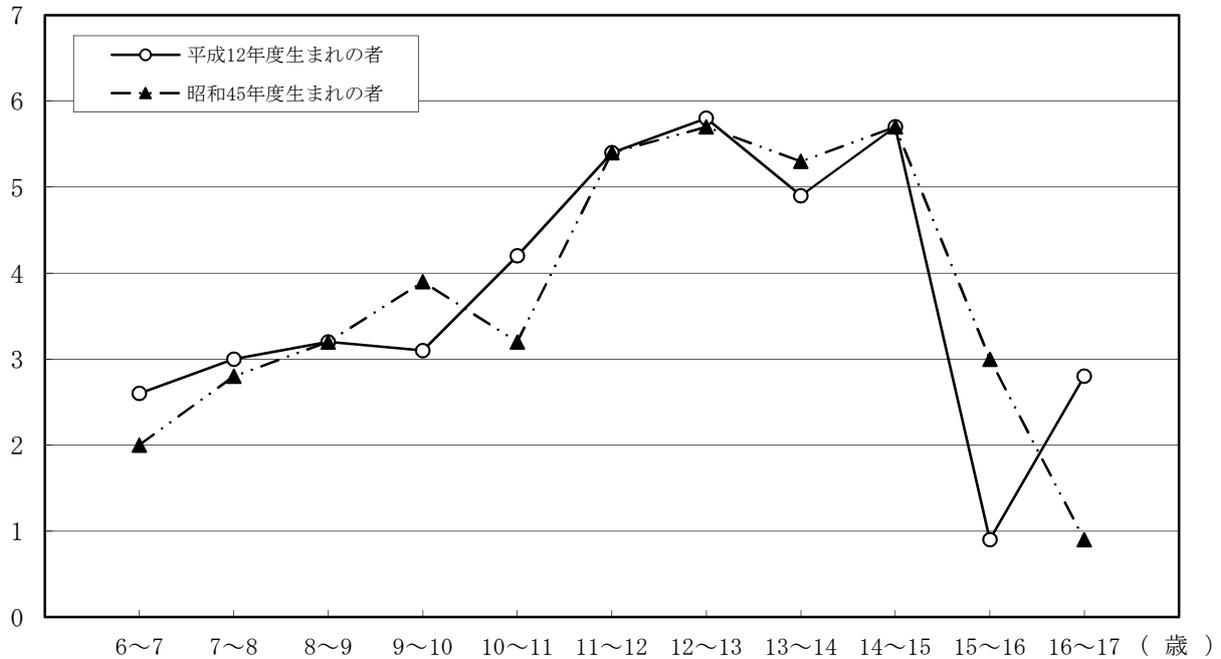


(2) 体重 (図11、図12、表7)

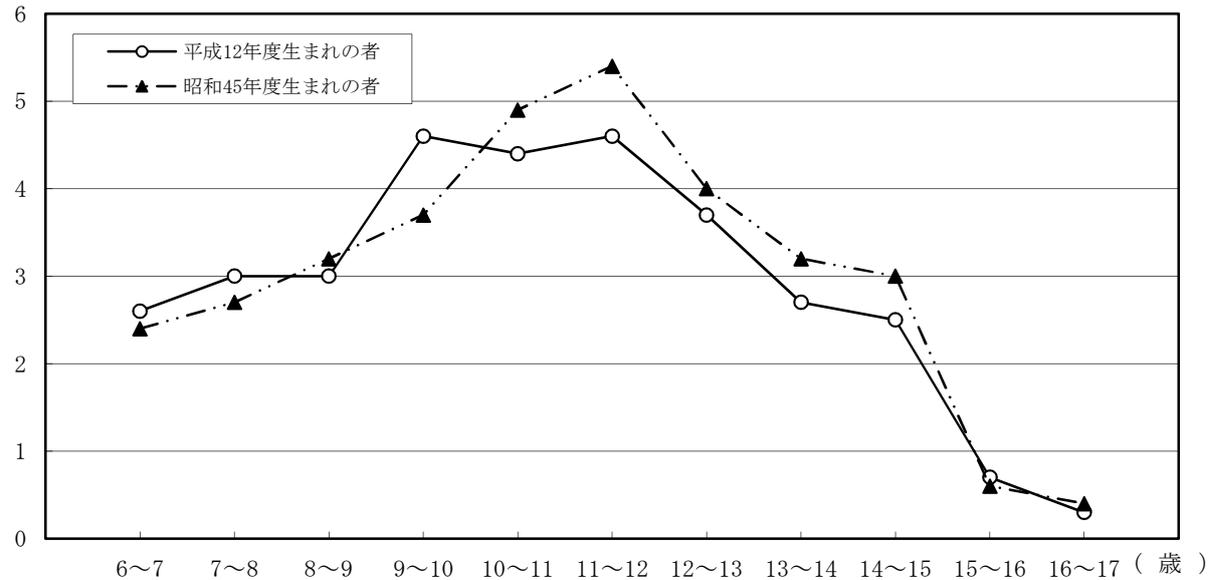
体重が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成12年度生まれの者」が12歳～13歳で5.8kg、親世代は12歳～13歳および14歳～15歳で5.7kgになっています。女子では、「平成12年度生まれの者」が9歳～10歳および11歳～12歳で4.6kg、親世代は11歳～12歳で5.4kgになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、両世代とも同じ時期となっています。一方、女子では「平成12年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(kg) 図11 平成12年度生まれの者と昭和45年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図12 平成12年度生まれの者と昭和45年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較(表7)

身長(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成12年度生まれの者」が親世代よりも男子、女子ともに1.0cm少なくなっています。

また、体重(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成12年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.5kg多く、女子は1.4kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、小学校の時期は、男子、女子の身長および男子の体重で「平成12年度生まれの者」の方が多い一方、女子の体重では親世代よりも少なくなっており、中学校・高等学校の時期は、いずれの数値も親世代よりも少なくなっています。

表7 「平成12年度生まれの者」と「昭和45年度生まれの者」(親世代)の年間発育量

区分	歳時	身長(cm)				体重(kg)				
		平成12年度生まれの者		昭和45年度生まれの者		平成12年度生まれの者		昭和45年度生まれの者		
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.2		5.5		2.6		2.0		
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.7		5.5		3.0		2.8		
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.4	35.4	5.8	34.2	3.2	21.5	3.2	20.5	
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.1		5.1		3.1		3.9		
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.0		5.0		4.2		3.2		
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.0		7.3		5.4		5.4		
	12歳(中1)～13歳(中2)	8.1		8.0		5.8		5.7		
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.1		5.8		4.9		5.3		
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.4	19.1	4.1	21.3	5.7	20.1	5.7	20.6	
	15歳(高1)～16歳(高2)	2.0		2.4		0.9		3.0		
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.5		1.0		2.8		0.9		
	11年間の総発育量	54.5		55.5		41.6		41.1		
	年間発育量の最も大きい年齢	12歳～13歳		12歳～13歳		12歳～13歳		12歳～13歳、14歳～15歳		
	女子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.2		5.6		2.6		2.4	
		7歳(小2)～8歳(小3)	6.1		5.7		3.0		2.7	
		8歳(小3)～9歳(小4)	5.4	36.3	5.7	36.1	3.0	22.2	3.2	22.3
9歳(小4)～10歳(小5)		7.5		6.0		4.6		3.7		
10歳(小5)～11歳(小6)		5.9		7.2		4.4		4.9		
11歳(小6)～12歳(中1)		5.2		5.9		4.6		5.4		
12歳(中1)～13歳(中2)		3.4		3.9		3.7		4.0		
13歳(中2)～14歳(中3)		1.7		1.9		2.7		3.2		
14歳(中3)～15歳(高1)		0.8	6.7	1.3	7.9	2.5	9.9	3.0	11.2	
15歳(高1)～16歳(高2)		0.1		0.0		0.7		0.6		
16歳(高2)～17歳(高3)		0.7		0.8		0.3		0.4		
11年間の総発育量		43.0		44.0		32.1		33.5		
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳		10歳～11歳		9歳～10歳、11歳～12歳		11歳～12歳		

(注) ・年間発育量は、たとえば平成12年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成20年度調査の7歳の体格から平成19年度調査の6歳の体格を引いたものです。

・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。

・平成12年度生まれの者とは、平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者で、平成19年度調査の6歳、平成30年度調査の17歳です。

・昭和45年度生まれの者とは、昭和45年4月2日から昭和46年4月1日までに生まれた者で、昭和52年度調査の6歳、昭和63年度調査の17歳です。